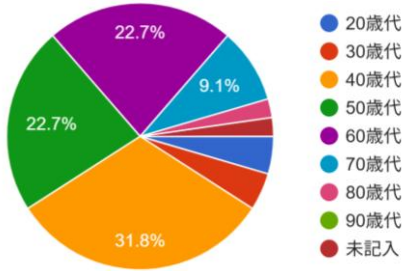


第9回「島原市在宅医療・介護連携セミナー」アンケート（回答44件）

参加者61名
オンライン：6名
会場：55名

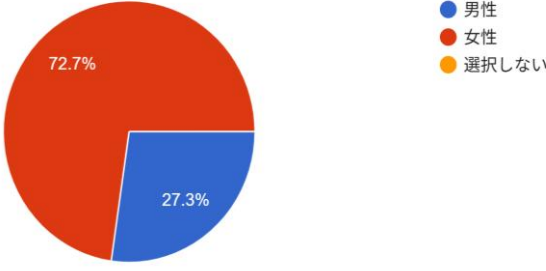
1. 年齢を教えてください。

44 件の回答



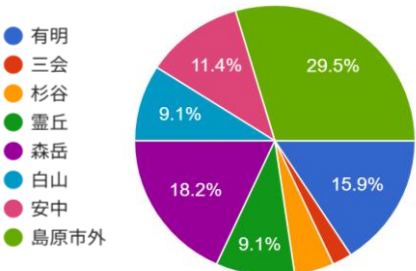
2性別を教えてください。

44 件の回答



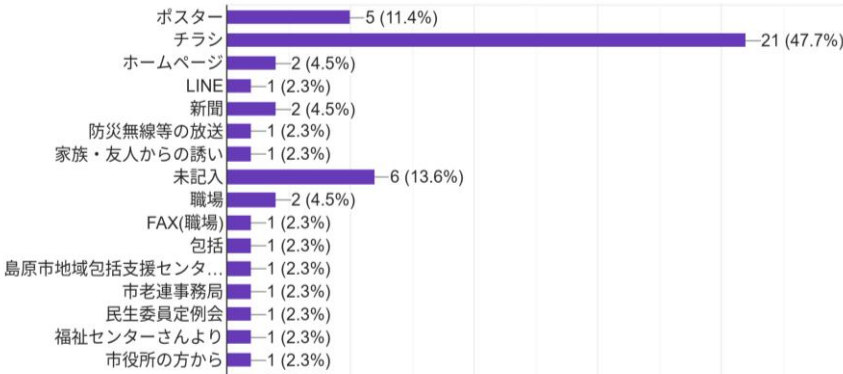
3.お住いの地区を教えてください。

44 件の回答



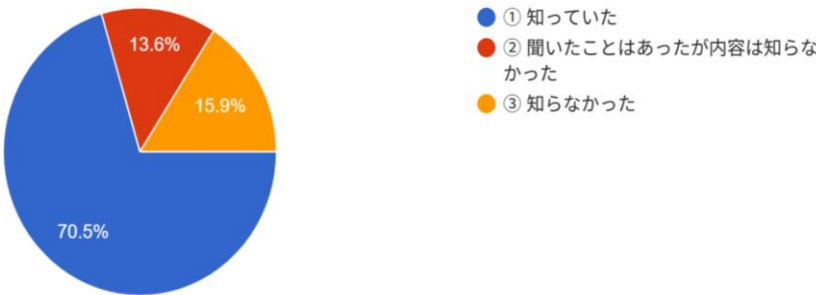
4.本日参加されたきっかけを教えてください。

44 件の回答



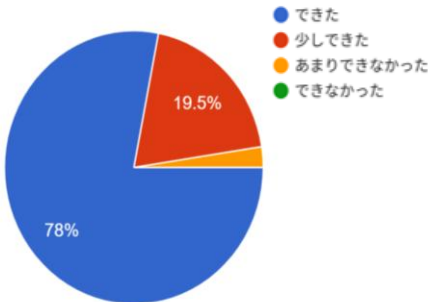
5.「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」について知っていましたか。

44 件の回答



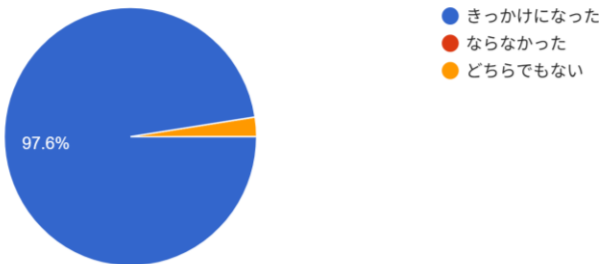
6.本日の講演の内容は理解できましたか。

41 件の回答

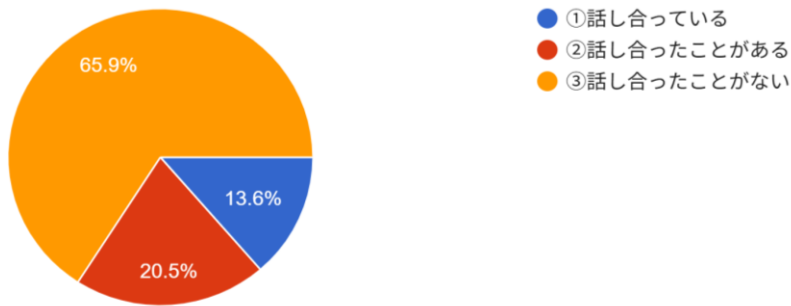


7.本日の講演を聴いて「いざという時について」考えるきっかけになりましたか。

41 件の回答



8.あなたはご自身の死期が迫っている場合にどのような医療介護を希望するか、家族と話し合ったことがありますか。当てはまるものを選択し、その理由を教えてください。（44件の回答）



8.一理由

①話し合っている

1. 若くして叔父が突然亡くなったりしたため、家族でもしも自分がそういう状況になった時のことを思って話したことがある。
2. 延命治療を希望していないため。その様な状況になった時に、家族から希望を伝えてもらう様に話してあります。
3. 延命治療はしない。
4. 仕事でいつも考える必要があると感じている。知り合いの死。
5. 自ら話を持ち掛けて聞いてもらいました。亡くなる時はこうしてね、亡くなったらこれをやってね・・・と終活ノートにもかかいてます。私は世帯主でもあるため2人の子に役割を与えています。
6. 新聞のお悔やみ欄を見ていると亡くなった方の年齢が様々であり、自分も何時亡くなるかわからないと思ったから。

②話し合ったことがある

1. 主人が5月(今月)亡くなったので。
2. 最近身内の人が亡くなった（がんで）から。子供達と一緒に住んでいなく主人と2人だけでなかなか家族全員で話す機会がない。
3. 両親が高齢になってきたので、体調を崩すことが増えたから。
4. 自分もいつどうなるかわからない。自分の病気や認知症になった時はこうしてほしいという話をしたことがある。
5. 身内が死亡
6. 家族が病気になった時
7. 20代の時、病気のため手術をすることになった時に万が一の場合も考え、家族で話し合ったことがあります。
8. 身近な人が亡くなった時に話をしたことがある

③話し合ったことがない

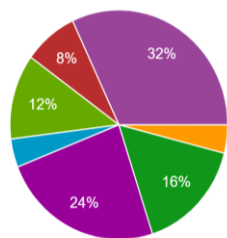
1. きっかけがない(8)
2. 話し合いたくない
3. 話し合う機会が全くない、不仲関係なので。
4. 現時点でまだ少し早いと思っている
5. 話すきっかけがない。
6. まだ先の事と考えており、話す機会を持っていなかった。
7. 年齢的にまだ早いという意識があり、きっかけがなかったため。
8. 1人暮らしのため。
9. きっかけがなく、深く話し合ったことがない。
10. まだ自分には関係がないと思っていた。(人には考えていた方がよいと言っているが)自分がどのような医療や介護を希望するか家族と話すキッカケがなかった。
11. まだ先の事だと思っていた為、話すきっかけがなかったが、70才を迎えた今、身近な事と考えがかわってきた。
12. 必要と思ったから

9.講演会の感想やご意見をご記入ください。

1. テーマは難しい考えたくない内容だがわかりやすい内容で良かった。
2. 話はしていますが、文章に残していないため、文章やノートに残しておこうと思いました。
3. 言葉がハッキリして解りやすかった。
4. これを機会に少しずつ家族と話し合いをしていきたい。
5. ターミナル期で過ごす方が自分らしく過ごすためにACPが大切だと思った。
6. 本日の学びを自分の家族や利用者支援で活かしていきたいです。
7. とても感動しました。患者様、家族の方に寄り添ってくださる満岡先生みたいな先生が島原市に増えてくださったらいいなと思いました。
8. 事例に基づき、わかりやすく参考になった。
9. ACPについて、先の事と思わず家族と話し合える時に話をしておこうと実感することが出来ました。
10. 老いた親とのACPを機を見て試みたいと思いました。
11. 市民の皆さんにACPの事が広がってほしいですね。
12. 2回目のセミナーと思いますが、何度聞いても身にしみます。
13. 満岡先生の講演は、自分や家族の事を見つめ直すきっかけになった。また、人生の終わりは誰にも分らないからこそ、毎日を大切にしながら精一杯生きていきたいと思いました。ありがとうございました！！
14. 貴重な講演を聴く事が出来ました。今後に生かせそうです。ありがとうございました。
15. ご家族、本人様の最期に関わることの多い職種なので先生のお話は現場の生の声で参考になりました。
16. 離れて暮らしている兄に対して私の終活ノートを書いておこうと思う。
17. 本人の思いを1番に知ることが大切であることがよくわかった。普段からのコミュニケーションの大切さ。
18. 大切にしていることとともにしてほしくないことをしっかり確認していきたいと思いました。
19. とてもわかりやすく、今後のきっかけにしたいと思いました。先生のお人柄を感じました。
20. 市民の皆様をへのさらなる周知、利用促進を期待しています。
21. 会場の気温が暑かったです。
22. 写真などもあり、雰囲気分かってとても勉強になった。
23. 今回の講演を参考にして、家族と話し合ってみたいと思いました。
24. とてもわかりやすい講演でした。多くの事例を出して下さい、あなたならどうしますか？という問いにも自分のこととして考えることができました。
25. 事例や対応等、詳しく教えていただき、理解しやすかったです。お忙しい中、貴重な時間を経験でき嬉しく思います。ありがとうございました。今日学んだ事を実践できるよう家族と話し合いたいです。
26. まず話をする事が大事だと感じた。
27. 貴重な内容であったありがとうございます

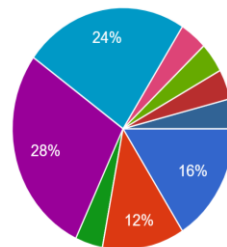
【医療・介護等専門職の方への質問】

10.-1) 現在従事している主となる職種(1つにチェック)を教えてください。
25件の回答



● 医師
● 歯科医師
● 薬剤師
● 保健師
● 看護師等
● リハビリ職
● 歯科衛生士
● 社会福祉士
● 介護福祉士
● 栄養士
● 介護支援専門員

10.-2) 現在所属されている業種をお答えください
25件の回答



● 病医院
● 施設系サービス
● 通所系サービス
● 訪問系サービス
● 居宅介護支援事業所
● 包括
● 包括支援センター
● 薬局
● 行政

11.今後受けた研修、医療・介護連携の中で課題に感じる事などご自由にご記入ください

1. 今回9回目と聞いてビックリ、1回目から参加しておけば良かったです。
2. "専門職間の議論の共有化"